

第1回官民パートナーシップによる「ちばの食育」推進作業部会議 結果概要

- 1 開催日：平成21年12月18日(場所：千葉市商工会議所研修室)
- 2 構成員：協議会委員6名、有識者4名
- 3 開催内容
 - (1) 食育計画の進捗状況の報告
 - (2) 今後の重点テーマ(企業連携、学校給食等)について
- 4 意見
 - (1) 「ちばの食育企業連絡会議(仮称)」について
 - ア 県と連携実績のある企業等で連絡会議を立ち上げ、セミナーでサポート企業に呼びかける段取りとするべき。
 - イ 企業の取組は業種などにより個々に異なるため、うまく連携できるような、しくみづくりが必要。
 - ウ 全員が一緒に活動するのは無理。専門部会などの枠組みが必要。
 - エ 個々の活動であっても月間に集中して実施することにより、統一的なイメージを作り出すという方法もある。
 - オ 共通の目標があるとよい。食育は幅広いので県がアピールできるテーマを示し、それに向けて活動するというやり方もある。
 - (2) 学校給食における食育の充実と土産物の推進
 - ア 地場の食材を提供するだけでなく、生産者の心を直接生徒に伝えることを実施して欲しい。福井では学校給食畑の取組により、食べ残しが減った。
 - イ 優良校のモデルを県下に発信していくことが必要

遠藤部会長のまとめ

企業やボランティアが自発的に動き根付いていく取組を導き出すことが大切。